



# 令和4年度 さいたま市本太小学校 学校経営方針

校長 藤澤 美智子

先行き不透明で変化の激しい時代において、他者と豊かにかかわり合いながら、感謝の心を持ち、主体的によりよい生き方を追求していく児童を育てていくために、組織が一体となった教育活動を推進していくことが求められます。令和4年度も先生方お一人お一人の力をいかに発揮し、チーム本太として心ひとつに歩んでまいりましょう。

## 1 学校教育目標

～知・徳・体の調和のとれた子の育成～  
かしこい子 心の豊かな子 たくましい子

## 2 めざす学校像

- ・ 笑顔あふれ、規律ある学校
- ・ 磨き合い・学び合い・高め合える学校
- ・ 組織力を十分に発揮できる学校

## 3 学校経営方針

心をこめて ～ 全ては子どもたちの幸せのために ～

### ○幸せを笑顔で

児童一人ひとりに寄り添い、心をこめた教育活動の実践により、児童が安心して学べる教育環境を整えることで、笑顔で他者と協働できる児童の育成を図る。

### ○磨き合い・学び合い・高め合い

児童同士、児童と教師が互いに磨き合い、学び合いながら、一步前の目標に向かって、主体的に高め合える教育活動を推進する。

### ○心ひとつに

教職員一人ひとりの英知を結集し、心ひとつに、心をこめた教育実践を推進することで、児童・保護者・地域に信頼される教師集団、学校をめざす。

### (1) 主体的に考え、行動し、豊かに交流できる児童をはぐくむ教育活動の推進

#### ①教育実践への情熱を持ち、一人ひとりの教師が自らの指導力を磨き、学力の向上を図る。

師弟同行・・・児童と教師が共に学び合い、高め合うことで、学ぶ意欲をもち主体的に考え、行  
行できる児童を育成する。

#### ②G I G Aスクール構想、SDG s 教育、STEAMS教育等、教科横断的な学習の推進で、誰一人取り残すことなく、新たな時代を生き抜く力を育成する。

\* I C T を効果的に活用し、学ぶ意欲を高め学びの質の向上を目指す。

③教科担任制の研究を推進し、確かな教材研究と教員相互の連携によって学力の向上と児童の学校生活の充実を図る

④全校学力学習状況の結果分析から、実態に応じて工夫した指導を展開する。

## (2) 他者と豊かにかかわり、節度ある児童の育成

①笑顔あふれる児童の育成（心の教育と児童理解、生徒指導の充実）

②礼を尽くし、場を清め、時を守る（本太小実践目標）児童の育成

\*礼を尽くす・・・いつでも どこでも 誰にでも 笑顔の挨拶が交し合える児童の育成

\*時を守る・・・開始時刻、終了時刻の徹底

\*場を清める・・・清掃指導の徹底、自分の学校を美しく保とうとする心と態度の育成

③安心・安全で美しい教育環境を常に整える。

\*心潤し、安心して生活できる学び舎としての教育環境

## (3) 保護者・地域との連携強化による、信頼される学校づくり

①コミュニティスクールの推進

・学校運営協議会をスムーズにスタートさせるとともに、保護者、地域への周知を深める。

・各種ボランティアや協力団体（SSN・MSNの充実）との連携強化を図る。

②保護者・地域との連携強化と教育活動の積極的な発信

・教育活動への保護者・地域の方の参加、連携を工夫し、ともに子どもを育てる体制を強化する。

・学校日より、HP等で教育活動を積極的に発信し、保護者、地域の学校への理解や信頼を深める。

## (4) 組織の力が十分発揮され、誰もがやりがいを感じる学校づくり

磨き合い・学び合い・高め合い

合い = 愛（感謝の心・認め合う心・感動の心）

①同僚性を発揮し、互いに切磋琢磨しながら研究と修養に努める。

\*道徳教育を推進し、思いやりの心を持ち他者と豊かにかかわり合える児童を育成する。

\*エバンジェリストを中心としたICTの効果的活用について研究を深める。

②報告・連絡・相談・確認・見届けの徹底

一人で抱えない、一人で悩まない。全教職員が全児童の担任という意識で児童とかかわり、「迅速・誠実・アフターケア」を徹底する。

全職員が全児童の担任という意識で児童とかかわる（一人ひとりが一人ひとりに心をこめた対応）

③教師一人ひとりの特性やよさを発揮し、学年集団ではもとより、学年の枠を超えての協力・協働体制を確立する → 安心・安全 風通しのよい学校

## 4 目指す児童像

～ 知・徳・体の調和のとれた子 ～

知：かしこい子 → かしこく

(自分で考え、判断し、行動できる子・話をしっかり聴き、対話を通して互いに高め合える子)

徳：心の豊かな子 → なかよく

(相手の立場になって思いやることができる子・友達と協力して活動し、課題を解決する子)

体：たくましい子 → たくましく

(粘り強く挑戦する子・明るくあいさつする子・進んで運動しバランスよく食事をする子・)

## 5 目指す教師像

～ 時を守り、場を清め、礼を正す 教職員 ～

○児童への深い愛情と節度のある教職員

○磨き合い・高め合い、学び続ける教職員

○信頼される教職員

## 6 学校教育目標具現化のための重点・努力点

### (1) 確かな学力の育成

・真の学力を育成するために、指導方法の工夫・改善を図り、授業力を高める。

※ 「自分で考え、判断し、進んで行動できる子」

＊ まずは、決められたことを進んで行う子の育成に努める。

「相手の話をしっかり聴く子」

＊ 相手の話に分かるとの考えをもつ

＊ 自分の考えを相手に分かるように発表したり書いたりして、双方向の交流が出来るようにする。

の育成

・各教科等において、ねらいや指導すべき内容、付けたい力を明確にした授業を実施する。

・GIGAスクール構想の推進 → ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する。

・SDGs教育やSTEAMS教育の実践により教科横断的な学びを推進する。

・教科担任制の導入により、教科指導、生徒指導のより一層の充実を図る。

・校内研修、学校課題研修の充実 → 校内で切磋琢磨し、外部講師による指導で高め合う。

・特別支援教育及び交流教育の充実を図り、ユニバーサルデザインの考えを全校に広める。

### (2) 豊かな心をはぐくむ実践

・「自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者とよりよく生きるための基礎となる」道徳性を養うために、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図る。

・児童の心に寄り添い、道徳教育の要となる「特別の教科 道徳」の授業を一層充実させる。

・学習や生活の基盤となる学級づくりを工夫し、学級経営を充実させることで、一人ひとりが活躍できる場を設け自己肯定感を高める。

・対話を重視し、他者を思いやり主体性のある児童の育成に努める。

- ・児童が達成感のもてる学年、学級経営に努める。

### (3) 健康・体力向上と安全な学校づくり

- ・体育授業をより一層充実させ、児童の体力向上に向けた授業を展開する。
- ・食と生活の結びつきを確認し、地域に根ざした食育を推進する。
- ・緊急対応マニュアル（いじめ、災害、負傷疾病、アレルギー、不審者）の見直しを図り、研修を通して徹底し、事故防止に向けた安全点検の充実を図る。
- ・けがへの適切な対処（首から上のけが、児童の様子の変化）とけがの防止
- ・学校安心メール等、地域・保護者への緊急連絡体制（早く・正確に）を整備する。
- ・具体的な防災教育（自ら考え自分の身を守る）を実践する。
- ・安全を最重視した施設設備の点検を行う。
- ・校内掲示の工夫や学校ファーム、花壇などを活用し、充実した環境整備を進める。

### (4) 積極的な生徒指導の充実

- ・心を潤す4つの言葉を軸として、基本的な生活習慣や規律の徹底を図る。
- ・日常の活動（清掃・給食指導等）を通じて、心に響く生徒指導に取り組む。
- ・生徒指導施策（心と生活のアンケート、声掛け等）を着実に実施し、小さな変化を見逃さず、対応する。
- ・差別やいじめの根絶を図り、情報を共有し欠席児童への適切なケアを行う。  
\*どんな小さなことも、いじめの芽は見逃さずにしっかり対応する。
- ・報告、連絡、相談を徹底し、組織的な校内体制で、積極的な生徒指導を行い、アフターケアを欠かさず行う。
- ・SCやSSWと連携し児童、保護者の抱える課題に対する教育相談を充実する。
- ・教師と児童、児童と児童の信頼関係の構築

### (5) 研究研修の充実

- ・学校課題研修「道徳教育・特別の教科 道徳」を要として、SDGs教育・STEAMS教育と関連させながら計画的に研修を実施する。
- ・GIGAスクール構想を道徳科の授業に効果的に取り入れる。
- ・研修成果を実践に生かし、子どもたちに還元する。  
\*研究の成果は、子どもたちの姿である。
- ・教科担任制を推進する。
- ・小・中一貫教育の成果を生かし推進する。（本太中・北浦和小との連携）

### (6) 地域・保護者から信頼される開かれた学校づくり

- ・学校運営協議会を開催し、コミュニティスクールを推進する。
- ・HP等により積極的に教育活動を公開し、保護者や地域の信頼と理解を得る。
- ・児童や職員の地域への参加を積極的に推進する。
- ・交通安全・防犯・図書等、各種ボランティアや協力団体（SSN・MSNの充実）との連携強化を図る。
- ・地域や保護者の声に対して、迅速・誠実に対応しアフターケアに努める。